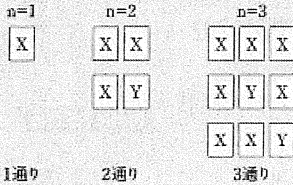


昨年度実施の筆答検査の問題 一部断

同じ大きさの、Xの文字が書かれたカードとYの文字が書かれたカードをたくさん用意した。これらのカードを、次のルールに従って、左から横一列にn枚並べるとき、次の問いに答えなさい。ただし、nは正の整数とする。

- ルール
・左端のカードは、Xのカードである。
・Yのカードの隣に、Yのカードをおくことはできない。

例えば、下の図のように、n=1, 2, 3のときは、ルールに従った並べ方が、それぞれ1通り、2通り、3通りある。



- 問題例1 n=4のとき、並べ方は何通りあるか。
問題例2 n=17のとき、左から9枚目のカードがYのカードで、このカードからみて、カードの文字の配列が左右対称となるカードの並べ方は何通りあるか。理由をつけて、求めなさい。
答え例1 5通り 例2 21通り(理由は省略)

探究 にいがた

■来春の入試で筆答検査を使う高校
A 新発田、新潟、新潟中央(普通)、新潟南、新潟江南、新潟西、巻、新津、三条、長岡、長岡大手(普通)、長岡向陵、柏崎、小千谷、国際情報、高田、高田北城(普通)、佐渡、新潟市立万代村上、新発田南、新発田農、新潟中央(食物)、新潟東、三条東、加茂、長岡大手(家政)、柏崎常盤、柏崎総合、小出、六日町、十日町、高田北城(生活文化)、糸魚川、羽茂 ※かつこ内は学科名

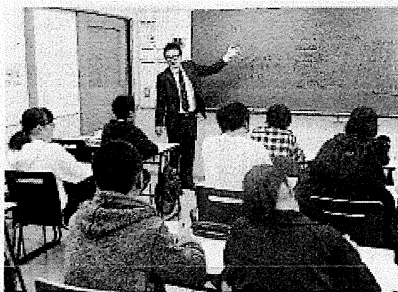
筆答検査を来年度廃止へ

県教委、高校入試見直し

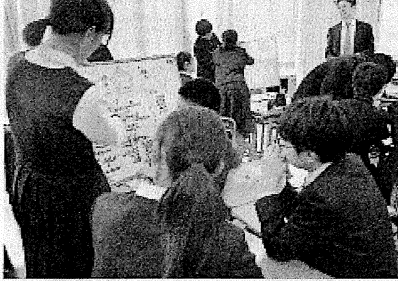
「受験生の負担に考慮」

「生徒の負担感にも考慮してそれぞれの高校がゼロペースで見直す」と。県教委によると、見直しは2020年度末実施の入試から、2日間の試験のうち、1日目に実施する主要5教科の筆記試験とは別に、面接や作文といった学校独自の試験がある2日目に、一部の学校が実施している「筆答検査」を廃止する方向だ。2日間に

例年1万数千人が受ける県内公立高校の一般入試を、今の中学2年生から大きく見直すという。県教育委員会が検討を始めた。目玉は、思考力や表現力を測る目的で5年前に導入された「筆答検査」の廃止だ。入試はどう変わるのか、学校や塾への影響は。(兼行人)



①学習塾の「筆答」対策の授業
＝新潟市中央区東大通1丁目
②白新中学校の授業の様子。班別に考えた内容を発表し合った＝新潟市中央区川岸町2丁目



問題は新潟や長岡など進学校を中心に19校、B問題は村上や糸魚川など16校が採用。採点は各校が行う。自ら考える力を重視する現行学習指導要領が12年度に中学で全面実施されたことを受け、より深い思考力や判断力、表現力を問いたい高校で14年度末の試験から始まった。ただ、1日目と同じく問題は各校共通

「筆答」対策の授業をしてる学習塾は、新入試の行方を注視している。県内に34教室がある「N.S.G教育研究会」の駅前本部校(新潟市中央区)。10月下旬の夜、中学2年生15人が筆答検査に似た問題に取り組んだ。約数の和について考え、記述式で回答するもの。自力でプリントに記入した後、周囲と相談して考えを深める。担当講師の照井及仁さん(57)は解説しながら、冒頭に条件、末尾に結論といった、答案の書き方も指南した。

中学校では思考力や表現力を高める取り組みが浸透しており、授業が大きく変わるわけではなさそうだ。「わかったけど、答えが違う」「これ間違ってる？」
新潟市中央区の市立白新中学校(生徒数約2100人)では10月末、2年生の

6回、中には臨時、こうした筆答検査対策の授業をしている。特に進学校を志望する中学生にとって、5教科の試験でも筆答検査でも大きく取りこぼさないことが重要になるからだ。新入試の内容が明らかになっておらず、当面はこうした対策授業を続ける。
職員の間では筆答検査について、論理的思考力や文章構成力といった大人にならなければならない力が求められる見方が多かった。それだけに、廃止で知識のみを問う内容に戻らないか、懸念もあるとい

で、高校の特色に合わせた選抜方法になっていないとの指摘もあり、「内容が一律の筆答検査をなくし、各校の独自性を高める」(県教委の担当者)という。
県内では、公立の一般入試は中学3年生の8割近くが受験しており、生徒や保護者への影響が大きい。県教委は新入試の概要を今年度中に発表する方針だという。

「筆答」対策の授業をしてる学習塾は、新入試の行方を注視している。県内に34教室がある「N.S.G教育研究会」の駅前本部校(新潟市中央区)。10月下旬の夜、中学2年生15人が筆答検査に似た問題に取り組んだ。約数の和について考え、記述式で回答するもの。自力でプリントに記入した後、周囲と相談して考えを深める。担当講師の照井及仁さん(57)は解説しながら、冒頭に条件、末尾に結論といった、答案の書き方も指南した。

学習塾 新入試の行方注視

生徒からは歓迎の声も
駅前本部校では中2に年

「筆答」対策の授業をしてる学習塾は、新入試の行方を注視している。県内に34教室がある「N.S.G教育研究会」の駅前本部校(新潟市中央区)。10月下旬の夜、中学2年生15人が筆答検査に似た問題に取り組んだ。約数の和について考え、記述式で回答するもの。自力でプリントに記入した後、周囲と相談して考えを深める。担当講師の照井及仁さん(57)は解説しながら、冒頭に条件、末尾に結論といった、答案の書き方も指南した。

中学校 思考力高める授業浸透

取り組み 大きな変化なし
数学の授業で、班別に生徒が同僚役も務めて話し合う「フアシリテーション」が行われた。
求めたい教員が五つある連立方程式の問題。文字をいくつ使って解くかについて3、4人の班で話し合い、ホワイトボードに考えを書いて説明し合う。

同校では7年前からこうした話し合い活動を始めた。教員同士が互いの授業を見

発表したり、書いたり、質問したりと全員に役割が持たせられて活発に議論を交わした。
担当した研究主任の田村友教(38)は、こうした授業を単元ごと(1回ずつ、年に十数回行う)、「グループで考え、新しい、よりよい解決法を導く力が身につく」と話す。

同校では7年前からこうした話し合い活動を始めた。教員同士が互いの授業を見

発表したり、書いたり、質問したりと全員に役割が持たせられて活発に議論を交わした。
担当した研究主任の田村友教(38)は、こうした授業を単元ごと(1回ずつ、年に十数回行う)、「グループで考え、新しい、よりよい解決法を導く力が身につく」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。

「不安もあるだろう。分析したいので、できれば早めの内容が知りたい。一方、廃止に胸をなで下ろす生徒も。授業を受けた新潟市立中学2年の女子生徒(14)は、「考えたことを文章にするのが難しく、筆答は苦手。5教科に集中できるのが、なくなるのはうれしい」。別の市立中2年の男子生徒(14)は、「これからは自分の考えを説明する力が重要だと思ってる。筆答対策は、大差なのでありがたい。ただ、差がつかなくなるのは悪くない」と話す。